広報かじき

No.304
昭和55年5月号

発行 加治木町
編集 総務課
印刷 (有)吉屋印刷

〝ハダカで勝負〟

健康優良児の審査

町では、次代をになう乳児が心身ともに
すこやかに育つようにと、春と秋、そして
3歳児健康審査を行っています。

◈人口22,065(−338) 男10,535(−180) 女11,530(−158) 世帯 7,225(−54) 55.4.1現在( )前月比

各種委員の報酬改正や敬老年金を引き上げる

定例第一回町議会

昭和五十五年第一回定例町議会は三月十二日から三十一日までの二十日間の会期で開かれ、新年度一般会計予算等議案十九件、陳情七件が審議され、議案については原案どおり可決。陳情については三件が採択、二件が不採択、二件が継続審議となりました。

新年度町長の施政方針や予算の内容については、四月号で掲載しましたので本紙では条例改正等主なものについて掲載いたします。

54年度建設町営住宅家賃二万二千円

反土、黒川に三月完成した町営住宅（西黒川住宅）の家賃が一戸当り月額二万二千円に四月一日から施行することに決りました。この住宅は、二種中層耐火構造十六戸で一戸当りの床面積は六九・七四平方メートルです。

完成した西黒川町営住宅

敬老年金支給額をアップ

町内に居住する高齢者に対し敬老年金を支給していますが、この額が次のとおり引き上げられました。満八十歳から八十四歳まで五千円、八十五歳から八十九歳まで八千円、九十歳から九十九歳まで一万三千円、百歳以上五万円。

町立幼稚園の保育料が改正

町立幼稚園の保育料等が四月一日から月額三千円が三千六百円に改められました。

国民健康保険税の税率を改正

町国民健康保険税の税率が四月一日から次のとおり改正されました。

所得割百分の六・六が六・八に、資産税割百分の五十が五十五に、平等割六千三百円が七千三百円に、均等割四千八百円が五千八百円に、限度額二十二万が二十四万円にそれぞれ引き上げられました。

町道路線の認定及び廃止

本町道路線が次のとおり認定及び廃止されました。

▽認定

毛上提水流線（小山田、西別府）延長二、六五四㍍、川床線（西別府）延長一、四三〇㍍、南龍口線（日木山）一六七㍍、日木山団地一号二号線（日木山）延長三六五㍍。

▽廃止

地久里線一部（小山田）七〇五㍍、地久里市来原線全線（小山田）一、一九四㍍

各種委員の報酬や費用弁償を改正

町の教育委員や農業委員、消防団員、それに他の各種委員の報酬費用弁償が四月一日からつぎの表（主なものを掲載）のとおり改正されました。

各種委員及び消防団員の報酬

区分	新（円）	旧（円）
教育委員長	（月）三一、〇〇〇	（月）二八、〇〇〇
委員	二三、〇〇〇	二一、〇〇〇
農業委員会長	（年）四五、〇〇〇	（年）四〇、〇〇〇
職務代理	二五、〇〇〇	二三、〇〇〇
委員	二四、〇〇〇	二二、〇〇〇
消防団長	（年）一〇五、〇〇〇	（年）九五、〇〇〇
副団長	六五、〇〇〇	五九、〇〇〇
分団長	五〇、〇〇〇	四五、〇〇〇
副分団長	四〇、〇〇〇	三六、〇〇〇
部長	三〇、〇〇〇	二七、〇〇〇
班長	二八、〇〇〇	二五、〇〇〇
団員	二六、〇〇〇	二四、〇〇〇
特殊技術員	二八、〇〇〇	二五、〇〇〇
出勤手当（災害・訓練）	（一回）二、八〇〇	（一回）二、六〇〇
各種専門委員	（日）二、七〇〇	（日）二、五〇〇
各種委員	二、五〇〇	二、三〇〇

町民税の税率が改正されました

四月十一日、第三回臨時町議会が開かれ、町民税の税率が昭和五十五年度から改正されることになりました。

個人均等割

個人の均等割の税率は、昭和五十一年に改正されましたが、その後の物価水準の上昇に伴い今回税率をみなおす必要から次のとおり改正されました。

(1)町民税七〇〇円を一〇〇〇円に
(2)県民税三〇〇円を五〇〇円に

その他の改正

(1)基礎控除、配偶者控除二十一万円をそれぞれ二十二万円に。
(2)扶養、障害者、老年者、寡婦控除十九五円をそれぞれ二十一万円に。
(3)特別障害者、老人扶養控除二十一万円をそれぞれ二十三万円に。
(4)同居の老人扶養に該当する両親（自己又は配偶者）の扶養控除を二十六万円とする（新設）
(5)市町村民税の所得割について、税率の適用区分の改正
(6)その他、適用年限の延長や譲渡所得の課題の特例等の改正

以上の措置により夫婦、子二人（標準世帯）の給与所得の課税最低限は、一六〇万円（現行一四九万円内）となります。

町行政連絡員一二人に辞令交付

今年も百十一人の町行政連絡員が決まり、この辞令交付式が四月二十八日、町福祉センターで行われました。

今年度一年間、町行政のはしわたしとしてお願いするわけですが、今年度から港町が上浜と下浜に別れ町内百十一部落となりました。

行政連絡員さん（四月現在）

城東地区一、〇二〇世帯

部落名	氏名	世帯数
日木山黒川	軸屋マスエ	四五
日木山団地	村田　正城	三八
天神	四元　義雄	一一〇
反土黒川	日高　為夫	七二
東諏訪	川井田ヨオ子	一四〇
西諏訪	伊藤　貞輝	一〇六
吉原	諏訪　国義	一六一
東吉原団地	日高　徳蔵	六〇
小陣	中村　光志	六八
下新道	湯浅　三郎	一四〇
里ノ上	西　一男	一七
里ノ下	坂元キヨ子	六四

城南地区八一八世帯

新町	別府ユキノ	四八
垂ノ口	小湊　國安	一三〇
江湖	川畑　スミ	三〇
今町	竹内　親男	一四八
上浜	松田　繁美	八八
中浜	浜田　清任	七七
下浜	米良　紀子	一三〇
蒲生田(1)	池崎　政男	七
蒲生田(2)	佐藤　慶雄	二五
西町	森山　吉次	二五
端山	上村　勝良	一〇九

城西地区六六三世帯

柳田	川辺　信義	二〇四
於里	永井　準	一三三
新富団地	本中野　智	四六
田中	篠崎　秀夫	一九〇
竹下	中摩多美子	九〇

城北地区一、一八九世帯

西反土前	日高　栄子	三〇
西反土後	東脇　三男	六五
萩原	鎌田　靖子	一九三
高井田	津崎チエ子	二一五
春日団地	日高　秀明	一一三
城	岩沢　忍	一一
口ノ町	後藤　瑞穂	二五
内原田	上別府　豊	一〇六
札立	青山　吉人	一三六
川原	柚木　義隆	三二
蔵王団地	堀江　東平	一九一
空港団地	追立　陸弘	七二

錦江第一地区一、一五九世帯

向江町	丸岡　実	八九
東塩入	村下　久信	一三〇
中塩入	岡山　秀樹	五七
南塩入	川原　熊男	八二
西塩入上	久保　金蔵	九〇
西塩入中	小浜　典昭	三一
西塩入下	宇都宮　隆	八五
江口団地	鳥丸　秀子	六九
西江口団地	藤原　亮	一〇四
岩原東	岩元　辰雄	一四五
岩原西	簗瀬　彰	二八六

錦江第二地区五八四世帯

浜村	増田　昌弘	一〇七
須崎	宮路　芳彦	二三〇
豊町	山元　留義	一四六
弥勒	湯川　東男	一〇一

錦江第三地区三九五世帯

小鳥	石元タミ子	三七
新中	久保園祐彦	五四
西ノ原	吉村　巌	四九
楠園	新　秀光	八六
中福良東	森田　瑤子	三〇
中福良後	北園　敬子	五三
上木田	徳寄　初	九三

永原第一地区一九八世帯

永原	内村　利夫	六六
丸岡	隈原　重義	一三
隈原上	福森とし子	二八
隈原下	西村ミエ子	一八
市野々	浜田　信	五
上	樗木　光男	二八
下	山口　利雄	二八
提水流	山下　初	一二

永原第二地区一五四世帯

萱浦谷上	鶴　正夫	二一
萱浦谷下	蓬原　春香	四七
桑迫	山下　時季	三〇
曲田	今吉　亨	一三
桃木野	桃木野美利	二〇
東ヒナバ	鹿屋　春雄	九
西ヒナバ	服部　富義	一四

辺川地区一〇三世帯

辺川下	大宮路五男	四六
辺川中	汰木　重夫	一七
鶴原	横山　勉	二七
市野	福丸　早苗	一三

竜門東元地区一六四世帯

布越	三村　文昭	三四
井手向	山下　健二	二一
高崎	佐藤　吉祥	一一
岩穴口	福薗　克己	一六
徳永	徳永　時夫	一六
小田倉	宮脇　信男	一六
迫上	吉村　孝之	一三
迫下	米沢　久男	二五
御狩山	東　実	一二

竜門西元地区一三一世帯

籠	上野　勝美	一五
毛上	篠崎　秋明	六〇
茶碗屋	湯川　好子	三〇
伊部野	日高　道寛	二六

竜門西浦地区一三二世帯

石野	親治	一九
鞍掛	湊　洋行	一七
永山	川原　忍	一〇
下東木	渋谷　親男	一七
上東木	大田黒森人	一三
赤谷	山口　幸男	一七
西浦西	日高　義男	三三
地久里	鶴田　己吉	六

竜門東浦地区一二三世帯

上川内	川原　節男	九
川内	東木　重夫	三〇
市来原	内村　義光	四五
新開	小原　豊	一六
宮田ケ平	畠中　一夫	二三

中野地区一〇五世帯

中野	本中野重則	四二
楠原	山下　喜之	二四
弓削	本村　重盛	七
長谷	伊福　春男	三二

毎月1日は
「省エネルギーの日」
です

石油消費節約7％を達成するため、このほど政府は、毎月1日を「省エネルギーの日」とし、家庭はもちろん職場、地域社会などを中心に〝省エネ国民運動〟をより一層盛り上げていくことを決めました。

エネルギーに対する節約を

最近の国際情勢は中東の産油国を中心に変動が見られ、原油の輸出を押えている状態であります。

産油国としては自国の近代化工業化を成し遂げるまで石油資源の寿命を引き延ばしたいと考えているからです。このまま石油消費を続けていけば石油が不足する事態は意外と早く来るかもしれませんし、今のような生活が出来なくなるおそれが生じてきます。

〝**資源は有限です**〟

私たちの生活は石油製品を抜きにしては考えられませんし、電気、ガス等のエネルギーも石油から造られているのです。

私たちの生活はすべて石油と密接に結びついています。エネルギーを石油に依存している限り、原油価格の上昇は物価にハネ返ってきます。

物価を安定させるためにも、エネルギーに対する節約を考え直してみる必要があります。

交通安全協力員となった左から福元・石原・下小牧さん

県交通安全協力員として3人に委嘱

昭和五十五年度県交通安全協力員として昨年に引き続き本町の三人が県知事から委嘱されました。

今後、交通安全に対する三人の方の御活躍を期待申し上げます。

また、町民の方の交通安全に対する相談等気軽にご活用ください。

なお、交通安全施設等について要望がありましたら役場消防交通係まで連絡ください。

（電話二―二一一一番の内線五四）

委嘱者は、下小牧千春（札立）石原五男（上木田）福元司（迫）の三人です。

加治木名物
くも合戦
6月8日
町福祉センター

本町の商店数は五二七店
54年商業統計調査から

このほど、商業統計調査を実施した結果、昭和五十四年六月一日現在で、本町の商店数は五百二十七店で前回（五十一年調査）に比べて七十五店（十六・六パーセント）増加しました。

従業者数（バー、酒場を除く）は一千九百九十八人で前回に比べ三百五十三人（二十一・五パーセント）増加し、年間商品販売数（バー、酒場を除く）は二百五十二億一千百十二万円で、前回に比べて百十一億五千九百九十九万円（七十九・四パーセント）増加しています。

本町の商業概要

区分	商店数	従業者数	年間商品販売額
	店	人	万円
卸売業	46	314	1,131,539
代理店・仲立業	6	15	—
織物・衣服身のまわり品・小売業	29	126	135,702
飲食料品小売業	160	434	236,910
自動車・自転車・小売業	21	97	146,238
家具・建具じゅう器小売業	61	176	119,844
その他の小売業	105	603	684,955
飲食店	65	233	65,924
（バー・酒場）	(34)	—	—
総数	(527) 493	1,998	2,521,112

話題

お年寄りが児童に竹馬をプレゼント

四月十七日、柁城小と錦江小の児童たちに、昔の遊びを少しでも知ってもらおうと竹馬が贈られました。

プレゼントしたのは、町老人クラブのお年寄りたちで、高井田にある老人福祉作業所で城松夫さんら二十人が五日間で手作りしたものです。

この日は柁城小に二十五組、錦江小に十五組が稲田進会長と城松夫さんから児童代表に手渡され、児童たちは思わぬプレゼントに「おじいちゃんありがとう。」と大喜び、さっそく竹馬に乗りはしゃいでいました。なおこのおじいちゃんたちは同作業所で作った竹ボーキ等も、中学校や神社などに寄贈し喜ばれています。

早速竹馬ではしゃぐ錦江小の子どもたち

82歳のおばあさん年金の一部を寄付

竜門小学校（岩元校長児童数一二一人）に四月十一日、子どもたちにと一万円が贈られました。

寄付したのは同校区岩穴口部落の下津佐アカさん八十二歳で、老齢福祉年金の一部を寄付されたものです。

下津佐さんは「体が悪く入院生活を続けていたが、最近はこのように元気になりました。これもみんなのお陰です。それに年金もいただくし、すこしでもお返しをしたい」と学校に持参されました。

学校では早速図書購入費にあて児童たちが楽しく利用しています。また四年生の子どもたちが感謝の作文を送り、おばあちゃんの方が涙を流し喜こんでおられた。

ありがとうございました。

百年間も続く〝ひなじょまつり〟

「踊れば花じゃ、踊らにゃ損じゃ」と歌い踊り、赤ちゃんのすこやかな成長を祈る行事「ひなじょまつり」が今年も月おくれの四月三日行われました。

この催しは、百年間も西別府の隈原部落内の三歳から中学生までの女の子たちが代々受けついでいるもので、一年間に生まれた部落内の赤ちゃんの家を、きれいに化粧をして晴着姿で伝統の古い歌を歌いながら踊り回り、赤ちゃんの健康を祈る行事であります。

今年の踊り手は十二人で、大頭を勤めるのは西村小百合さん（永原中三年）で十七戸の家を「踊らんにゃ損じゃ踊れば花じゃ、おいげん　おっかはんな　なべも　はがまも　かいださんじん　こげなこっつは　めってなごわはん」と歌を口に無心に踊り回わりました。

今年は特に加治木町民音頭を上級生がサービスし、喜ばれていました。

健康管理推進協議会　優良児六人を表彰

栄養改善推進事業ならびに母子推進事業を推進している健康管理推進協議会の総会が、去る五月二日町福祉センターで開催された。

この事業は栄養改善で成人病を防ぎ又、心身共に健やかな子供を育てようという目標に向って、地道な活動をしている組織で、県政の大きな事業であるサンライフ栄養教室等も加わり、活動は年々活発に展開されております。

今年度もこの健康増進事業が更に大きく発展し、住民ひとりひとりに浸透しますよう町民の皆さんのご協力をお願いいたします。

五十四年度主な事業内容をお知らせします。

健康管理推進協議会関係四三回二、三六四人、サンライフ親子栄養教室十回二二五人、サンライフ車座栄養教室四〇回八八〇人、老人給食二四回七二〇人、母子推進事業五〇〇回

なお、この席で昭和五十四年度の健康優良児六人を表彰しました。

審査では、体格はどうか、湿疹や風邪をひきやすい子供、三才児では虫歯はないか等厳選に審査し次の六人を選びました。

今後更に病気知らずで心身共に健やかに成長されることを望んでいます。

春の健診分

優良児	保護者	部落
大迫　俊貴	宗俊	東塩入
竹之内　瞳	秋宏	岩原西

秋の健診分

池之上　卓郎	昂一	天神
吉川　千尋	博康	於里

三歳児

増田　剛	修	浜村
瀬戸口　千穂	昭	岩原西

表彰を受ける三歳児

心配ごと相談

毎週木曜日の午前中町福祉センターで受けています。

“お気軽にご利用を”

婦人のコーナー

ゴールデンウィークも終わり、職場でも、家庭でも平常の生活が戻ってきたと言う感じのこの頃ではないでしょうか。それにしてもこの四月未知の世界へスタートした新入生のみなさん、新しい環境になれましたか。今一番疲れの出るころです。がんばってください。

動き出した婦人会

先に開きました総会で、新役員が誕生をし、本年度の活動方針や努力点、予算などが審議され、ふるさとづくりは婦人の手でと言う新たな決意をもってスタートしました。

○会　長　西迫　雅子（中塩入）
○副会長　荒武　綾子（川　原）
○活動方針
わたしたちは
●信頼しあい
協力しあい
すばらしい仲間づくり
を目指しましょう。
●自分を高めるために勉強をしましょう。→ 学習活動
●学習した事を生かしましょう。
実践活動 であり
地域づくり であり
奉仕活動 へとつないでいく
という考え方を柱に婦人会活動をすすめ、八十年代にふさわしい婦人の生き方をさぐっていこうと思っています。
●努力点として
一、親睦を深めながら組織の拡充をはかりましょう。
二、よりよい消費者となる勉強をしましょう。―生活学校運動―
三、青少年の健全育成にとり組みましょう。
◇わが子だけではダメ、シンナー、悪書追放など。
四、他団体との連携をはかり地域づくりにとりくみましょう。
五、物を大事にしましょう。
◇古紙回収、エネルギー問題
六、交通安全の意識を高めよう。
◇家庭での指導者は母親、どれほどの腕前ですか。
七、命を大切にしましょう。
◇サンライフ運動、定期検診、公害問題など……。
以上のようなことをあげています。

婦人会は、青年団やPTAと同じく社会教育団体です。そして、同じ地域に住んでいる老若の婦人たちが自分たちの知恵や力を出し合って自分たちの生活や環境を改善していこうと学び合い、実践化していく場です。そしてまた、広く全国の婦人たちと手をつないでいる場です。

参加なさいませんか!!

一、生活学校運動
この運動は、日常生活の中で不安やわからないこと、改善したいことなどを、行政、企業などの　専門の人々と話し合ったり調査したりするなかで解決、改善していく運動です。具体的には、食品問題、ゴミ問題、エネルギー問題、石けん問題などとりあげています。

二、婦人学級
婦人会が開く婦人学級です。

三、ボランティア活動
婦人会で四十八年から続けています南九州病院内にある重心病棟と筋ジス病棟への施設ボランティアです。

以上のことについて募集しています。ご希望の方は、氏名、電話番号、地域名等を書いて、福祉センター内にある婦人会事務局か、社会教育課の方へご提出ください。

選挙はなぜ大切なのか!!

選挙は民主政治の基礎であり、これが正しく公平に行われ立派な議員が選出され、国や地方自治体を問わず政治行政の振興に寄与していることは承知の通りです。

国の政治は国民が参加して国民の意志によって政治が行われることを民主主義といいます。主権が国民で国の政治を決定する最高の権力が国民にあるということです。

我が国の憲法では、この民主主義の原則である国民主権を明確に定めております。民主政治の基本的形態は古代都市国家のように主権者である国民が直接政治に参加する直接民主政治にありました。ところが近代国家においては、人口増大をはじめ社会的分業の発達、地域文化社会の拡大、政治の高度化などによって、直接民主政治は事実上困難になってきました。現代ではほとんどの国が直接民主政治をとっておらず、我が国のように議会を通じて政治に参加する間接民主政治をとっています。間接民主政治とは、選挙によって代表者を選出し、その代表者が政治に参加することであり、ここに選挙の重要性があるのです。したがって選挙が正当に行われ、代表者として最もふさわしい者が選出されることが民主政治を発展させるかなめでもあるのです。

特に我が国において、国では議員内閣制をとっており、選挙によって立法府、行政府が形成され、さらに地方公共団体では住民が直接立法府、行政府の代表者を選出するわけですから選挙の意義は特に重大なものとなっています。我が国の憲法では次の三原則を設けることにより民主主義の精神を選挙において実現することとしています。

▽普通選挙主義
一定の年令（二十才）に達したすべての人（能力と資格がない特殊な者を除く）に平等に選挙権を与えること。

▽平等主義
選挙人が各人平等に一人一票であり、性別、財産、教育程度などで差別をつけないこと。

▽秘密投票主義
選挙人が投票した者を第三者が知ることのできない方法であること。

追　伸
来る六月には参議員の通常選挙が行われ、わたしたち国民に対して重大な選挙とはご承知の通りです。エネルギー問題、外交、防衛、教育、物価等難問題ばかりです。主権者である我々心をひきしめ、よく見、よく聞いて一人の棄権者もなく（去る衆議員選挙の二区三十二市町村で、我が加治木町は最下位の投票率七十七・八パーセントでした。）正しい選挙で立派な人を選びましょう。

加治木町選挙管理委員会
委員長　大脇篤彦

希望に燃えた先生たちを迎えて

町教職員就任式

新しい先生たち

まず高岡公園を案内

町内の小・中学校にこの春新しく着任された二十四人の先生がたを歓迎し、激励する教職員就任式が教育委員会主催で四月十一日、町福祉センターで開かれました。

式に先だち町内を知ってもらおうと、西別府の高岡公園へ案内。加治木町（街）を眼下に「ワァーすばらしいながめ」と加治木の地形を勉強。

式では、町民憲章を朗読のあと教育長や町長、議長らが「県下各地で活躍された先生、そして新しい先生方、ようこそ我が加治木においでくださいました。どうかいままでの経験をいかし、頑張ってください」と激励しました。

これにこたえ新任を代表して、永原小の西村校長は「希望にもえた加治木町です。学校は学習の場であり、父兄の期待にこたえたい」と述べました。

このあと園田委員長から全員に加治木名物の竜門焼の湯のみが贈られ、ジュースで乾杯、名物の「かじきまんじゅう」で歓迎しました。お互いの自己紹介でも加治木まんじゅうが話題となり、就任式はおわりました。

新任の先生がたを紹介します。

柁城小学校
教頭　谷山美智夫　国分南小
教諭　高橋　士郎　福島県中村第一小
〃　壹岐　修　錦江小
〃　大山　四郎　伊敷小
〃　油田瑠璃子　吉野小
〃　逆瀬川博昭　新採
講師　重富　成子　期限付
〃　木下　孝純　〃
〃　緒方　敦子　〃
〃　柚木由美子　〃
養護教諭　鳥越　靖子　平南小

錦江小学校
教頭　寺師　秋義　川内小
教諭　市来　高司　川上小
〃　野間しづ子　本城小
〃　上川　勝幸　蘭牟田小
教諭　上妻　和夫　押角小
〃　下水流達司　新採
講師　池田　紀子　期限付

永原小学校
校長　西村　義則　吹上小

加治木中学校
教諭　油田　忠義　野間中
〃　川野　博敏　福島県
〃　川野　征朗　有明中
〃　竹山　勲　大坂中
講師　安東はるみ　期限付
〃　安楽伊久子　〃

永原中学校
教諭　深見　幸子　甲東中

竜門中学校
校長　中島　嘉雄　県立図書館

事務局
社教主事　西　雅生　蒲生町社教主事

加治木町更生保護相談所

昭和五十三年十月から町更生保護相談所が設置されています。これは、町と町保護司会が一緒になって開設運営しているもので、その運営内容は、次のとおりであります。遠慮なくご利用してください。

○目的

非行少年の問題（犯罪少年、触法少年、戯犯少年）及び少年院、刑務所の釈放者の保護指導、就職問題等について家族でお困りの方に対し、その相談に応じ、懇談の上指導を行い町内の更生保護事業の確立と社会を明るくし、住み良い町づくりに寄与しようとするものであります。

○運営

(1)毎月初めの水曜日
午前九時三十分から十二時まで
(2)場所＝福祉センター内
(3)相談担当者＝加治木町配属保護司
(4)助言、協力者＝鹿児島保護観察所、国分公共職業安定所、加治木警察署

竜門句会

ぜんまいの和毛かがやく丘の風　井之上透山
しろがねの連峰はるか冬木立　上野　光
古墳群花菜にむせて数へをり　鶴田　耕
末黒野を去る転勤の荷の轍　川崎　黒兎
初めての絵筆すべらせ春うらら　田代　俊泉
浮き上る如き月夜の白蓮花　高木　正男
雨三日梢の残花となりにけり　能勢真砂子
赤茶けし葉は散り急ぐ竹の秋　宮脇　思川
春炬燵折紙なす子のきりもなや　古江　重美
花びらを散らせて桜燃え終る　横山　江南

赤十字運動月間

五月一日～三十一日まで

新緑の五月は赤十字社員増強月間です。

赤十字の精神や、目的事業を一人でも多くの人に理解していただき、「各戸に一人は赤十字社員」を目標にこの運動が展開されます。

日赤加治木分区の今年の目標額は一五二万円で昨年より一三万円多くなっています。目標額はぜひ達成いたしたいので皆様のご協力をお願いします。

社費の納入については、婦人会または部落行政連絡員さんにお願いいたします。

自衛官を募集

自衛隊国分募集事務所では、昭和五十五年度自衛官（二等陸海空士）を次のとおり募集しています。

△応募資格

採用予定月の一日現在十八才以上、二十五才未満の日本国籍を有する者

△試験課目

ア、筆記試験　国語、数学、社会及び作文

イ、口述試験

ウ、身体検査

エ、適正検査

△身分及び給与

特別職　国家公務員

俸給　月額　八八、四〇〇円

賞与（ボーナス）は年間（三月、六月、十二月）四・九カ月分支給されます。

△志願手続

志願受付はいつでも受付けます。志願書類は町役場又は自衛隊国分募集事務所（電話〇九九五四―五―一八三六）へお問い合わせください。

うぶ声

三月二十一日から四月二〇日分まで

出生者	保護者	部落
本田ユカ	武夫	端山
大村秀一	香	毛上
山元美和	秀守	内原田
毛利寿喜	喜美男	永原
宮崎夕紀	賢一	小陣
林　真六	富士雄	東諏訪
石野こずえ	孝昭	蔵王団地
上村寿子	正和	端山
川辺のぞ美	純和	蔵王団地
伊瀬知巧	公美	岩原東
砂森美幸	達矢	蔵王団地
竹之内啓	輝博	蔵王団地
東村　誠	久志	西塩入下
坂元美由紀	政義	江口団地
安田延康	昭男	須崎
真茅直樹	重治	小陣
鶴田小月	春樹	高井田
市来聖子	康巨	札立
上東勇二	孝市	西諏訪
大薄健治	博文	春日団地
川原利奈	芳和	岩原東
瀬戸山達哉	優	日木山黒川
山口真美	弘	豊町
池田通済	信良	春日団地

香典返しを寄付

香豊返しのかわりにご寄付をいただきました。厚くお礼申し上げますとともに故人のごめい福をお祈りいたします。（　）内は故人

＝町社会福祉協議会へ＝

二万円　西浦西　高崎　キミ（清77）

三万円　於　里　篠原　隼夫（トミ85）

二万円　迫　下　米森　正助（チヨ88）

一万円　萩　原　岩崎　四三（榮蔵73）

五万円　中　野　永吉　篤則（クミ76）

三万円　新　中　楠元ハルエ（榮二73）

五万円　伊部野　日高　勲（ツヤ子52）

一万円　毛　上　向江　秋義（ミ[illegible]73）

二万円　萩　原　池田伊右ヱ門（ヨシ[illegible]2）

一万円　江口団地　栩野　未（東洋子65）

二万円　上菖蒲谷　蓬原武男（キクエ69）

三万円　辺川下　大宮路　親（清蔵84）

五万円　柳田　吉留幸子（曽木マサ92）

三万円　西塩入中安藤慶一郎（満雄76）

二万円　西の原　上水流サダエ（義光58）

三万円　垂の口　犬童　久子（春光54）

＝町育英奨学資金へ＝

一万円　於　里　篠原　隼人（トミ85）

二万円　西塩入中安藤慶一郎（満雄76）

＝町国民年金協議会へ＝

一万円　於　里　篠原　隼人（トミ85）

▽…四月二十日までの御寄付を掲載いたしました。

小鳥を飼うには許可が必要です

五月十日から十六日までは「愛鳥週間」ですが、鳥獣を捕獲したり飼養するには県知事の許可が必要です。許可を受けずに捕獲したり飼養しますと法律違反として罰せられます。

捕獲上の注意

①必ず県知事の許可を受け、許可証を持って捕獲してください。

②捕獲申請の出来る鳥名と羽数はメジロ、ホオジロ、ウグイス、マヒワ、ソウの五種類で羽数は一世帯に一羽です。

③捕獲許可期限は七月十五日から翌年の二月末日までです。

許可申請の手続き

①県庁または農林事務所に直接本人が赴き、よく説明を聞き申請手続きをしてください。（印鑑が必要です）

②飼養許可手数料は、一羽につき九〇〇円です。

③小鳥屋および他人から小鳥を譲り受けるときは、必ず飼養許可証といっしょに譲り受けてください。